

2006年6月6日

各位

日本陸運産業株式会社  
上海日陸北方物流有限公司

### 中国に於ける輸送事業開始のお知らせ

日本陸運産業株式会社（本社：東京都千代田区、社長：菅原務）と中国資本との合弁会社、上海日陸北方物流有限公司（本社：上海市、総経理：川野仁彦、資本金：100万米ドル、日本陸運産業が60%を出資）は陸上貨物運送業務(危険品輸送を含む)、倉庫業務、海上・航空輸送輸出入貨物の取扱業務、国際貨物運送代理店業務の営業許可を取得し、営業活動を開始しました。

日欧米のお客様は、安全・品質面、業務遂行能力、価格などの点で安心して物流を任せられる会社を必要としており、そのニーズに対応するサービスを提供してまいります。

同社の輸送部門は化学品(危険物を含む)が主な取扱品目であり、バン型トラックにて行う保税・保温・冷凍輸送や海上輸送用タンクコンテナを利用した液体化学品輸送を行う計画です。合弁先中国企業と当社の輸送経験、管理ノウハウ、市場資源を生かし3年以内に華東地区での化学品物流業界でリーダー企業になることを目標としております。

また、国際貨物運送代理業務では、日本陸運産業株式会社のグループ会社で国際貨物複合輸送（主にタンクコンテナ）をしているインターフロー(タンクコンテナシステム)社の代理店業務を行い中国各地での液体化学品の輸出入、通関、フレートフォワーディング業務を行います。

2004年9月には上海外高橋保税地区に危険物倉庫の営業を開始しており、今般の運送及び国際貨物運送代理業の営業許可取得により同倉庫を利用した高品質

で安全な化学品物流を全て自社の管理下で行うことが出来るようになり、お客様へ積極的な営業展開を進めてまいります。

また、中国では最近、危険品関係の事故が多発しており、関係当局の危険物物流に対する規制が一層強化されていく中で当社の存在価値はなお一層重要になっていくことが予想されます。

以上

**【本件に関するお問合せ先】**

経営企画室次長 東海林 武（電話 03-3265-8560）